

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	アール医療福祉専門学校
設置者名	学校法人筑波学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
医療専門課程	看護学科		270	240	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科		180	160	
商業実務専門課程	医療事務学科		180	160	
	総合ビジネス学科		180	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表を学校事務局に備え付け閲覧に供し、希望者には配布する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	アール医療福祉専門学校
設置者名	学校法人筑波学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ (<https://a-ru.ac.jp/disclosure/index.html>) で公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	令和7年6月13日 ～令和11年6月12日	法人の会計全般の 確認
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和11年6月12日	組織運営体制のチ ェック
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	アール医療福祉専門学校
設置者名	学校法人筑波学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 毎年 1 1 月 教育課程（案）の内容を検討 毎年 1 2 月 教育過程編成会議において審議 翌年 2 月 授業計画書（シラバス）の決定 ・授業計画書（シラバス）の公表時期 入学年度 4 月 オリエンテーション時に公表	
授業計画書の公表方法	授業計画書（シラバス）を冊子にして学校事務局に備え付け閲覧に供し、希望者には配布する。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第 19 条の規定に基づき授業科目の成績評価を次のとおり行っている。 ・学内授業における成績評価は、学期末考査、中間考査、レポート、実技考査、実習結果等を考慮し総合的に評価する。 ・学外実習における成績評価は、実習施設の評価、レポート、学内の症例検討会等を考慮し総合的に評価する。 ・成績評価は、A B C D の 4 段階評価とする。 - A：優（80 点以上） - B：良（70 点以上 80 点未満） - C：可（60 点以上 70 点未満） - D：不可（59 点以下 不合格）	
3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・学科ごとに履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出し (100 点満点で点数化)、成績分布状況を作成する。 ・成績分布状況は、履修指導・学生支援等で活用する。 ・下位 1 / 4 に該当する者については、面談等により改善を促す。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	成績分布状況を表す資料を学校事務局に備え付け 閲覧に供し、希望者には配布する。
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校が目指す人材像を、学則第1条に「医療専門課程及び社会福祉専門課程の教育を行い、専門職業人として、地域の保健医療と社会福祉に貢献し得る人材を育成する。文化・教養専門課程及び商業実務専門課程の教育を行い、広く国際的視野及び多様化するニーズに対応する視野を備えた実践力に富む人材を育成する」と定めている。この人材像に基づき、卒業の認定方針を次のとおり定めている。

- ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、卒業判定会議を経て卒業の認定を行っている。
- ・学校長は、卒業の認定を受けた者に卒業証書を授与する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

卒業の認定を学習の手引きに記載し、学校事務局に
備え付け閲覧に供し、希望者には配布する。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	アール医療福祉専門学校
設置者名	学校法人筑波学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ (https://a.ru.ac.jp/disclosure/index.html) で公表
収支計算書又は損益計算書	ホームページ (https://a.ru.ac.jp/disclosure/index.html) で公表
財産目録	ホームページ (https://a.ru.ac.jp/disclosure/index.html) で公表
事業報告書	ホームページ (https://a.ru.ac.jp/disclosure/index.html) で公表
監事による監査報告（書）	ホームページ (https://a.ru.ac.jp/disclosure/index.html) で公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程	看護学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	2, 895／105 単位時間／単位	1, 920/ 82 単位間/ 単位		975/ 23 単位間/ 単位			
			2, 895／105 単位時間／単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		96 人	0 人	8 人	59 人	67 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） - 授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 毎年11月 教育課程（案）の内容を検討 毎年12月 教育課程編成会議において審議 翌年 2月 授業計画書（シラバス）の決定 - 授業計画書（シラバス）の公表時期 入学年度 4月 オリエンテーション時に公表
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第19条の規定に基づき授業科目の成績評価を次のとおり行っている。 - 校内授業における成績評価は、学期末考査、中間考査、レポート、実技考査、実習結果等を考慮し総合的に評価する。 - 学外実習における成績評価は、実習施設の評価、レポート、学内の症例検討会等を考慮し総合的に評価する。 - 成績評価は、A B C Dの4段階評価とする。 A：優（80点以上） B：良（70点以上80点未満）

C：可（60点以上70点未満） D：不可（59点以下 不合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校が目指す人材像を、学則第1条に「医療専門課程及び社会福祉専門課程の教育を行い、専門職業人として、地域の保健医療と社会福祉に貢献し得る人材を育成する。文化・教養専門課程及び商業実務専門課程の教育を行い、広く国際的視野及び多様化するニーズに対応する視野を備えた実践力に富む人材を育成する」と定めている。この人材像に基づき、卒業の認定方針を次のとおり定めている。 ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、卒業判定会議を経て卒業の認定を行っている。 ・学校長は、卒業の認定を受けた者に卒業証書を授与する。
学修支援等
（概要） ・面談やミニテストの結果等から学生の履修状況を把握し、補講等が必要と思われる者に対して、個別指導やグループ指導を実施している。 ・クラス担任制をとっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34 人 (100%)	1 人 (3%)	33 人 (97%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 茨城県内医療機関の看護師（19 人）、茨城県外医療機関の看護師（14 人）			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、学外就職説明会、個別相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第 115 回看護師国家試験 合格率 88.2%（合格者 30 人/受験者 34 人）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
95 人	2 人	2.1%
（中途退学の主な理由） 学業不振によるもの		

(中退防止・中退者支援のための取組) 出席不良者や学業等に悩みを抱える学生に対して、担任等が面談等の支援を行っている。

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
教育・社会福祉		社会福祉専門課程	介護福祉学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 130／94 単位時間／単位	1, 020/ 56 単位時 間/単位	660/ 28 単位時 間/単位	450/ 10 単位時 間/単位		
			2, 130／94 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		76 人	66 人	4 人	10 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 毎年 1 1 月 教育課程（案）の内容を検討 毎年 1 2 月 教育課程編成会議において審議 翌年 2 月 授業計画書（シラバス）の決定 ・授業計画書（シラバス）の公表時期 入学年度 4 月 オリエンテーション時に公表
成績評価の基準・方法
(概要) 学則第 19 条の規定に基づき授業科目の成績評価を次のとおり行っている。 ・校内授業における成績評価は、学期末考査、中間考査、レポート、実技考査、実習結果等を考慮し総合的に評価する。 ・学外実習における成績評価は、実習施設の評価、レポート、学内の症例検討会等を考慮し総合的に評価する。 ・成績評価は、A B C D の 4 段階評価とする。 A：優（80 点以上） B：良（70 点以上 80 点未満） C：可（60 点以上 70 点未満） D：不可（59 点以下 不合格）
卒業・進級の認定基準
(概要) 本校が目指す人材像を、学則第 1 条に「医療専門課程及び社会福祉専門課程の教育を行い、専門職業人として、地域の保健医療と社会福祉に貢献し得る人材を育成する。文化・教養専門課程及び商業実務専門課程の教育を行い、広く国際的視野及び多様化するニーズに対応する視野を備えた実践力に富む人材を育成する」と定めている。この人材像に基づき、卒業の認定方針を次のとおり定めている。 ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、卒業判定会議

を経て卒業の認定を行っている。 ・学校長は、卒業の認定を受けた者に卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) ・面談やミニテストの結果等から学生の履修状況を把握し、補講等が必要と思われる者に対して、個別指導やグループ指導を実施している。 ・クラス担任制をとっている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32 人 (100%)	0 人 (0%)	32 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 茨城県内施設等の介護福祉士（32 人）			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、学外就職説明会、個別相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 第 38 回介護福祉士国家試験 合格率 60%（合格者 15 人/受験者 25 人）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	1 人	1.5%
(中途退学の主な理由) 学業不振によるもの		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席不良者や学業等に悩みを抱える学生に対して、担任等が面談等の支援を行っている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		医療事務学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1, 920／61 単位時間／単位		1, 440/ 45 単位時 間/単位	210/ 7 単位時 間/単位	270/ 9 単位時 間/単位			
				1, 920／61 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
40 人		2 人	0 人	2 人		6 人		8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 毎年 1 1 月 教育課程（案）の内容を検討 毎年 1 2 月 教育課程編成会議において審議 翌年 2 月 授業計画書（シラバス）の決定 ・授業計画書（シラバス）の公表時期 入学年度 4 月 オリエンテーション時に公表
成績評価の基準・方法
（概要） 学則第 19 条の規定に基づき授業科目の成績評価を次のとおり行っている。 ・校内授業における成績評価は、学期末考査、中間考査、レポート、実技考査、実習結果等を考慮し総合的に評価する。 ・学外実習における成績評価は、実習施設の評価、レポート、学内の症例検討会等を考慮し総合的に評価する。 ・成績評価は、A B C D の 4 段階評価とする。 A：優（80 点以上） B：良（70 点以上 80 点未満） C：可（60 点以上 70 点未満） D：不可（59 点以下 不合格）
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校が目指す人材像を、学則第 1 条に「医療専門課程及び社会福祉専門課程の教育を行い、専門職業人として、地域の保健医療と社会福祉に貢献し得る人材を育成する。文化・教養専門課程及び商業実務専門課程の教育を行い、広く国際的視野及び多様化するニーズに対応する視野を備えた実践力に富む人材を育成する」と定めている。この人材像に基づき、卒業の認定方針を次のとおり定めている。 ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、卒業判定会議を経て卒業の認定を行っている。 ・学校長は、卒業の認定を受けた者に卒業証書を授与する。
学修支援等

(概要) ・面談やミニテストの結果等から学生の履修状況を把握し、補講等が必要と思われる者に対して、個別指導やグループ指導を実施している。 ・クラス担任制をとっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 茨城県内医療機関等の医療事務（8 人）、茨城県内の企業（1 人）			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、学外就職説明会、個別相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療事務技能審査試験 合格率 88%（合格者 8 人/受験者 9 人） 秘書技能検定 3 級 合格率 66%（合格者 6 人/受験者 9 人） Microsoft Office Specialist (Word Excel) 合格率 94.1%（合格者 16 人/受験者 17 人）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 出席不良者や学業等に悩みを抱える学生に対して、担任等が面談等の支援を行っている。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		総合ビジネス学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1, 830／69 単位時間／単位		1, 050/ 43 単位時 間/単位		780/ 26 単位時 間/単位			
				1, 830／69 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		79 人	75 人	2 人		5 人		7 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ・授業計画書（シラバス）の作成過程及び時期 毎年 1 1 月 教育課程（案）の内容を検討 毎年 1 2 月 教育課程編成会議において審議 翌年 2 月 授業計画書（シラバス）の決定 ・授業計画書（シラバス）の公表時期 入学年度 4 月 オリエンテーション時に公表	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学則第 19 条の規定に基づき授業科目の成績評価を次のとおり行っている。 ・校内授業における成績評価は、学期末考査、中間考査、レポート、実技考査、実習結果等を考慮し総合的に評価する。 ・学外実習における成績評価は、実習施設の評価、レポート、学内の症例検討会等を考慮し総合的に評価する。 ・成績評価は、A B C D の 4 段階評価とする。 A：優（80 点以上） B：良（70 点以上 80 点未満） C：可（60 点以上 70 点未満） D：不可（59 点以下 不合格）	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 本校が目指す人材像を、学則第 1 条に「医療専門課程及び社会福祉専門課程の教育を行い、専門職業人として、地域の保健医療と社会福祉に貢献し得る人材を育成する。文化・教養専門課程及び商業実務専門課程の教育を行い、広く国際的視野及び多様化するニーズに対応する視野を備えた実践力に富む人材を育成する」と定めている。この人材像に基づき、卒業の認定方針を次のとおり定めている。 ・学校長は、所定の課程を修了し、全科目の単位を修得した者について、卒業判定会議を経て卒業の認定を行っている。 ・学校長は、卒業の認定を受けた者に卒業証書を授与する。	

学修支援等
(概要) ・面談やミニテストの結果等から学生の履修状況を把握し、補講等が必要と思われる者に対して、個別指導やグループ指導を実施している。 ・クラス担任制をとっている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	0 人 (0%)	22 人 (75.9%)	7 人 (%)
(主な就職、業界等) 茨城県内企業の事務職等（12 人）			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、学外就職説明会、個別相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 秘書技能検定 3 級 合格率 66%（合格者 2 人/受験者 3 人） サービス接客検定 3 級 合格率 100%（合格者 3 人/受験者 3 人） 日本語能力試験 N3 合格率 55%（合格者 11 人/受験者 20 人）			
(備考)（任意記載事項）			

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	200,000 円	600,000 円	400,000 円	その他（施設設備費 200,000 円、実習費 200,000 円）
介護福祉学科	100,000 円	500,000 円	250,000 円	その他（施設設備費 150,000 円、実習費 100,000 円）
医療事務学科	100,000 円	500,000 円	220,000 円	その他（施設設備費 150,000 円、実習費 70,000 円）
総合ビジネス学科	100,000 円	500,000 円	220,000 円	その他（施設設備費 150,000 円、実習費 70,000 円）
修学支援（任意記載事項）				
指定校推薦入学特典：指定校合格者は施設設備費より 100,000 円～200,000 円免除				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己評価結果を学校事務局に備え付け閲覧に供し、希望者には配布する。		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者評価は、関連業界、卒業生、学識経験者により構成する学校関係者評価委員会により行う。同委員会は、本校が「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて行った自己評価結果をもとに学校評価を行い、その評価結果を教育活動及び学校運営に活用することを目的とする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
龍ヶ崎済生会病院 看護部長	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	関連業界
つくばセントラル病院 総合リハビリテーションセンター部長	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	関連業界
総和中央病院 児童発達支援事業所 はなもも 管理責任者	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	関連業界
介護老人保健施設さくら 事務長	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	関連業界
緒方内科循環器クリニック 事務長	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	関連業界
あびこクリニック 助産師・看護師	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	卒業生
広瀬医院 理学療法士	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	卒業生
水府病院 作業療法士	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	卒業生
介護付有料老人ホーム サンシャイン・ヴィラつくば倶楽部 介護福祉士	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	卒業生
山王台病院 医事課職員	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	卒業生
筑波技術大学大学院 名誉教授	令和8年4月1日～ 令和11年3月31日	学識経験者
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価結果を学校事務局に備え付け閲覧に供し、希望者には配布する。		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページ (<https://a-ru.ac.jp>) で公開する。